

## 国立大学法人岐阜大学 競争的資金等の不正使用防止計画

岐阜大学では「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成19年2月15日（平成26年2月18日改正）文部科学大臣決定）に基づき、競争的資金等の不正防止活動を推し進めてきている。

最高管理責任者は基本方針を策定し、これに基づく具体的な対策として、不正使用防止計画を策定しており、公正研究推進室において不正を発生させる要因を把握し対策を講じ、3年ごとに活動の点検・検証や各種監査等の報告を踏まえ見直しを行っている。

### 基本方針【1. 適正な運営・管理の基盤となる環境の整備】

公的研究費の不正使用は、研究活動の信用を失う。各部署の研究活動を俯瞰できる大学全体の組織が、研究行動規範を基に公正な研究を推進する。

平成22年度～平成24年度の取組	平成25年度以降の防止計画	ガイドライン改正に基づく現防止計画の修正
公正研究推進室は、平成23年度から監査が行う内部監査等に参加し、不正を誘発する要因を具体化し、マニュアル（立替払事務取扱要領・検収体制の見直し）等の作成に努めた。	公正研究推進室と監査室との連携を更に強化し、不正を誘発する要因を把握し、不正防止策を具体化し研修会等で教職員に周知する。	公正研究推進室と監査室との連携を更に強化し、不正を誘発する要因を把握し、不正防止策を具体化し研修会等で教職員等に周知する。
平成23年11月30日に公正研究推進室のホームページを立ち上げ、不正防止への取り組みを公表し、教職員の周知に努めた。	不正防止への取り組みを公表し、職員に研修会等で周知する。	不正防止への取り組みを公表し、研修会等で教職員等に周知し、誓約書を取り意識付けを図る。
毎年FAQの作成及び研修会を開催し、平成22年度には立替払事務取扱要領を作成した。これにより学内でのルールや見解の統一化を図った。	・各種競争的資金の使用ルールや、相談窓口寄せられる質問等を網羅したFAQの更新に努め、教職員のルールの理解に努める。 ・日常モニタリング体制を具体化する。	・各種競争的資金の使用ルールや、相談窓口寄せられる質問等を網羅したFAQの更新に努め、教職員等のルールの理解に努める。 ・日常モニタリング体制を具体化する。

### 基本方針【2. 研究費の適正な運営・管理活動】

研究費の執行を日常的にチェックするシステムを構築し、適正な研究活動を支援する。

平成22年度～平成24年度の取組	平成25年度以降の防止計画	ガイドライン改正に基づく現防止計画の修正
公正研究推進室は、平成23年度に財務部と連携を取りながら検収体制の見直しを行った。納入業者の検収場所の固定及び周知、検査職員を事務系職員と限定し検収行為が形骸化しないよう検証した。	公正研究推進室は、部局責任者・担当者との連携を取りながら、検収体制が形骸化しないための、点検・検証を繰り返し行い、発注体制についても事務部門における牽制が機能する仕組みの導入を検討する。	公正研究推進室は、部局責任者・担当者との連携を取りながら、検収体制が形骸化しないための、点検・検証を繰り返し行い、発注体制についても事務部門における牽制が機能する仕組みの導入を検討する。
平成23年2月24日及び平成24年2月9日に人材開発部では、旅行命令簿及び短期契約職員雇用等について通知文を作成し、出張報告書の書き方及び出勤簿・業務内容等報告書の書き方を通知した。これにより、研究担当者等の責任を明確化し、短期雇用者の勤務状況確認方法を確立した。	研究担当者等の責任を明確に示し、担当者に対し研修会などで自覚を促す。	研究担当者等の責任を明確に示し、担当者に対し研修会等で自覚を促す。

### 基本方針【3. 情報の伝達を確保する体制の確立】

全職員が情報を共有するため、教員・職員双方向の情報伝達手段を活性化する。

平成22年度～平成24年度の取組	平成25年度以降の防止計画	ガイドライン改正に基づく現防止計画の修正
年1回以上の公正研究推進室会議を行い、使用ルール等の研修会を研究者・事務職員に行き、不正防止の活動及び情報の共有を図った。また、毎年10月に不正防止の研修会を行った。	公正研究推進室は、研究者・事務職員に対し、不正防止のための活動として、また不正防止に関する情報の共有を図るため、研修会等を開催し、教職員の不正防止の認識調査等を行う。	コンプライアンス推進責任者は、公正研究推進室と協力し、研究者・事務職員等に対し、不正防止のための活動として、また不正防止に関する情報の共有を図るため、コンプライアンス教育を実施し、教職員の不正防止の認識調査等を行う。
公正研究推進室で、他大学等における公的研究費の不正使用事案を不正防止の研修会で公表し、研究に対するリスク意識の向上に努めた。	教員と職員とのコミュニケーションを図り、情報を見える化する。	教員と職員とのコミュニケーションを図り、情報を見える化する。